

漢字の話 9月26日（月）全校朝会の話

先週は大きな台風が日本を通過し、大きな被害が各地で出ました。一日も早く被害にあわれた方が日常の生活を取り戻せるように皆さんも心から祈っていきましょう。また、私たちにもいつ危険がせまってくるかは分かりません。普段から準備をしっかりと行って、いざというときにきちんと行動できるようにしていきましょう。

さて今日は、漢字のお話をします。1年生の皆さんも漢字の勉強が始まりましたね。小学校で学習する漢字はいくつあるか皆さんは知っていますか。

1年生では80字、2年生では160字、3年生では200字、4年生では200字、5年生では185字、6年生では181字。合計で1006字を学習することになります。さて皆さんはこのうちどのくらいの漢字を使うことができますか。漢字は今の中国にあった漢という国で使われていたものが日本に伝わってきたものです。また、日本語で使われるひらがなやカタカナの元になった文字でもあります。漢字はひらがなやカタカナと違い、一文字一文字に意味があります。ですから皆さんもまだ学習していない言葉であっても漢字の意味から推測することができるのが特徴ですね。

では、この文字は何という文字でしょうか？



これは、2年生で習う漢字の元となった形です。秋の季節に大きく関係があります。よく見ると真ん中の線から何かが分かれてくっついているように見えます。

これは5年生の学習に関係がありますね。そうです、これは「米」という漢字の元になった形です。稲穂に実ったお米が付いている様子を表しています。

さらにこの「米」という字を分解してみましょう。

米＝八＋十＋八 ということになります。このことは昔から米作りをしてお米を収穫するには88の手間がかかるといういわれにつながっています。5年生はバケツ稲作りをしていますからこの88の手間については体験から学んだこともあるでしょうね。

このように漢字はどのようにして作られてきたのか、またどのような言われがあるのかを調べてみるといろいろなことが分かってきて楽しいものだと思えます。漢字は覚えるのが面倒だなという人は、こんな風にとときどき漢字のあれこれを調べてみてもいいのかもしれない。楽しく勉強ができる工夫を自分でしていきましょう。